

# 立命館大学技術士会 第10回総会

## 議 案 書

# R

令和元年(2019年) 6月29日

(一社)中央電気倶楽部 215号室

13:00 ~ 17:00

## 立命館大学技術士会第10回総会議案

### <第1号議案>

立命館大学技術士会第9期(2018年4月1日～2019年3月31日)事業報告

### <第2号議案>

立命館大学技術士会第9期決算報告および監査報告

### <第3号議案>

第10期事業計画(案)および予算(案)

### <第4号議案>

立命館大学技術士会会則改定

### <第5号議案>

第10期役員人事:敬称略(2019年度及び2020年度)

## <第1号議案>

### 立命館大学技術士会第9期(2018年4月1日～2019年3月31日)事業報告

#### (1) 会員拡大と組織強化

本会の基盤強化として、本会員、特別会員、準会員および賛助会員合計200以上を目標としたが、第9期末結果は、本会員149名、準会員3名および賛助会員6社の合計158であった。

ご高齢な会員の退会等もあり、前期の170から12の減となって課題を残す結果となった。

今後も引き続き、建設会および建立会等のOB会を通じて、本会の活動情報を発信して会員の拡大を図る必要がある。

そのため毎年、建設会報には本会の紹介を兼ねて、活動報告等の掲載をお願いしている。

今後も、第二次試験合格者の情報入手とともに入会を促進して、会員拡大と組織強化を図り、会員にとって更なる魅力ある団体を目指す。

また、過年度より加盟要請のあった「大学技術士会連絡協議会」に今期参画し、2018年11月10日、日本大学駿河台キャンパスにて開催された年次総会に初めて出席した。

30校もの各大学の活動報告書が示され、今後の活動に活かしていくことが期待できる。

#### (2) 技術士試験受験への支援

H30年度技術士第二次試験受験支援は、2018年4月7日に2回目の受験ガイダンスを行い、受験講習会は5月12日および6月16日の2回、実施した。

H31年度の技術士第二次試験受験支援は、2019年3月2日に1回目の受験ガイダンスを行い、受験申込書、業務経歴、小論文について、のちの口頭試問を意識して整合性が図られた内容になっているか、また文章表現が的確であるか等の視点で指導を行った。

また、受講者拡大のため2019年2月に、平成26年度土木、環境都市系学科卒業生(近畿在住および勤務者の80名)に対し、講習会の案内を出して広く呼びかけを行った。

#### (3) 立命館大学への支援

大学の環境・都市系学科の授業を活用し、後進者である学生達に出前講義を実施した。

① 2018年度新たに創設された環境都市工学科1回生(約160名)を対象に、5月28日BKCにて『めざせ！技術士』と題し、技術士資格の説明会を実施した。

学生達に、出来れば一次試験は在籍中に、二次試験は卒業後に取得するよう話をを行い、技術士として社会に貢献する重要性を説明した。講習会后、環境都市工学科教授陣と懇談会を行い、本会の大学への活動支援の継続要請を確認した。

② 環境システム工学科3回生(約80名)を対象に、「技術者のキャリア形成」に向けた指導のため、『第9回立命技術士懇談会』を7月19日、BKCにて実施した。プレゼン内容は、実社会の経験に基づく公務員、ゼネコン技術士による職務と役割、学生達へのアドバイス等であった。

講演後、学生達を囲んだ細やかな懇親・交流会を催し、盛況のうちに終えた。

③ 都市システム工学科2回生(約80名)を対象に、「技術者のキャリア形成」に向けた指導のため、『第10回立命技術士懇談会』を10月30日、BKCにて実施した。プレゼン内容は、実社会の経験に基づく公務員、コンサル技術士による職務と役割、学生達へのアドバイス等であった。

学生達には卒業後の専門技術者として、その社会活動のあり方や技術者倫理などについて考えさせ、更なる学習意欲の向上に繋がられたと思う。

以上の『めざせ！技術士』および『立命技術士懇談会』については、(公社)日本技術士会近畿本部および立命館大学建設会の後援を得て、実施している。

また、大学の科学技術教育活動に協力し、理工学部特殊講義および理工学研究科授業への講師を派遣した。

#### (4) 技術講演会および親睦会

本会および会員相互の資質向上として講演会等を企画し、第9回総会時には特別講演として、東急建設(株)土木事業本部のICT推進グループリーダー小島文寛様より、「ICTが進める建設現場の生産的革新 -100年に一度の渋谷再開発の事例とともに-」と題し、BIM/CIMへの取組みなど、最新技術を駆使した現場事例をご紹介いただいた。

また本学、大窪健之教授より「歴史都市防災への取り組み -地震火災と環境防災水利整備-」と題し、歴史的文化遺産に対する防火対策プロジェクト等についてご講演いただいた。

毎年恒例の交流懇親会は、11月10日に「中央電気倶楽部」にて開催した。その折、来賓の本学、樋口能士教授より、本学の話題提供として、現況と本年開設された環境都市工学科の設立趣旨や目指す学科教育について、P.P.Tを使ってご講演をいただいた。

また、本会の糸田川廣志幹事長から、東日本大震災直後と今について、その変遷の様子がわかる現地写真を交えた報告があった。

「大学技術士会連絡協議会」の活動の一環として、2019年2月9日、日本教育会館で開催された(公社)日本技術士会(修習技術者支援委員会)主催の「技術士を目指そう、修習ガイダンス2019」に参画し、本会のパネル紹介を行うとともに、講演会等も聴講した。

#### (5) 会員相互の親睦と技術レベルの向上

本会創設時に発行していた会報を、会員相互の更なる充実した活動を促進することを目的に一昨年の10月に復活させた。2018年10月には第2号が発刊された。今後も引き続き、会員の日頃の科学技術に係る研究成果や技術報告をはじめ、自由闊達なご意見や近況報告等について投稿していただき、会員相互のコミュニケーションツールとして、活用してもらうことを希望する。

#### (6) 会計基金の充実と、事業企画の推進

① 技術士受験支援基金(受験講習イベント、講師謝礼等)、② 講演会・交流企画基金(講演会イベント、交流会イベント等)、③ 大学支援・共同企画基金(JABEE支援、共同講演会企画等)の3種の基金を設け、各事業企画に応え、活用していくこととした。

第9期は予算収支の関係で本基金の積み立ては控えたが、次年度以降も予算の執行状況をみて、基金の充実を図る。

なお、本基金の趣旨は上記に記すところであるが、過去に阪神・淡路大震災発生後、あらゆる組織の活動が長期にわたり機能停止に追い込まれた苦い経験等を踏まえ、来る南海トラフ地震をはじめとする有事の折には、本基金が本会の活動継続に有効に活用できるものと考えている。

そのため、仮に2年から3年間、会費納入が見込めない状況下でも、本会が機能停止することなく活動できるよう、本基金の積み立てが必要ではないかと考えている。

< 第2号議案 >

立命館大学技術士会第9期決算報告および監査報告  
(2018年4月1日～2019年3月31日)

項目	予 算	決 算	摘 要
(1) 収入			
①会費等収入	300,000	200,000	個人会費 (95名納入)
	60,000	120,000	賛助会費 (5社)
	20,000	45,000	お祝い+寄付
②講習会収入	30,000	19,000	講習会参加費(計19名)
③		-	
未来人財育成基金	30,000		交流懇親会にて
④その他	2,873	24,831	ゆうちょ銀行利息、その他
-----			
今期計		408,831	
⑤前期繰越金	67,127	67,127	前期残高合計
合計	510,000	475,958	
(2) 支出			
①会員技術研修等支援活動費	120,000	70,792	
②大学教育支援活動費	90,000	66,580	
③技術士試験受験支援活動費	100,000	114,510	76,510(会場費等)+38,000(支援活動費)
④その他活動費			
未来人財育成基金	30,000	42,000	17,000(未来人財)+25,000(近畿支部広告)
⑤通信事務費	30,000	22,794	
⑥会費振込手数料	10,000	5,510	
-----			
上記計	380,000	322,186	
⑦大学支援・共同企画基金	100,000	-	
⑧予備費	30,000	55,786	総会精算額
今期計	510,000	377,972	

収入額 475,958  
支出額 377,972

収支合計= 97,986 …… 次期繰り越し金額

監 査 報 告

立命館大学技術士会第9期会計内容につき、通帳、金銭出納簿、領収証  
および入金書類を監査した結果、適正に処理、記載されていると認める。

平成 31年 4月 30日

立命館大学技術士会

会計監事 村山 稔 

会計監事 兼塚 卓也 

積立基金会計（ゆうちょ銀行）

預金名	預け年月日	預け金額	払戻(開始)年月日	年 利 率 %
定額貯金① 受験支援基金	26-03-27	¥150,000	26-09-27	0.04
定額貯金② 講演交流基金	26-03-27	¥150,000	26-09-27	0.04
定額貯金③ 大学支援基金	27-03-30	¥150,000	27-09-30	0.04
定額貯金④ 活動基金等	28-03-29	¥100,000	28-09-29	0.01
定額貯金⑤ 活動基金等	29-03-30	¥100,000	29-09-30	0.01
合 計		¥650,000		

\* 定額貯金の利率は3年以上預けた場合の年利率である。  
 また満期時は10年経過となり、通常口座に振り替えられる予定です。

## < 第3号議案 >

### 第10期事業計画(案)および予算(案)

#### < 事業計画(案) >

##### (1) 会員拡大と組織強化

本会の組織基盤を確立するために、会員の拡大・増強を引き続き行い、正会員、特別会員、準会員および賛助会員について、計200以上を目標に、更なる基盤強化を図る。

具体には、新体制による新たな役員と増員に鑑み、事務局の再構築を図り、組織の強化を考える。

また、「大学技術士会連絡協議会」については、同様の課題、問題点を抱えている団体もあることからそのネットワークを活用し、相互に情報交換するためにも11月上旬に開催される年次総会に参加する。

##### (2) 技術士試験受験への支援

昨年度同様、既に開催した第1回受験ガイダンスに続き、4月6日に2回目の受験ガイダンスを行い、5月11日および6月15日に模擬試験を含む受験講習会を実施している。

昨年同様、試験実施が7月中旬となり、最終の受験講習会を6月中旬に早めて実施した。

今年度は、試験内容が大幅に改正され、必須科目が択一式から記述式に変わるとともに、技術士に求められる資質能力(コンピテンシー)として、以下に示す8つの項目が掲げられた。

- ① 専門的学識
- ② 問題解決
- ③ マネジメント
- ④ 評価
- ⑤ コミュニケーション
- ⑥ リーダーシップ
- ⑦ 技術者倫理
- ⑧ 継続研さん

今年の筆記試験合格者には、その口頭試験対策として、11月16日午後に口頭模擬試験を中央電気倶楽部において予定している。詳細は、本会HPにおいて掲載・募集する。

また令和2年度の受験支援については、これまで同様に3月と4月に受験ガイダンスを予定しているとともに、来年度の受講者を見据え、平成27年卒の環境都市系学科卒業生(近畿在住、勤務者)に対し、講習会の案内を出す予定である。

##### (3) 立命館大学への支援

昨年に引き続き、環境都市工学科1回生を対象に、6月3日BKCにて『めざせ！技術士』と題し、技術士資格の説明会を実施する。また、環境システム工学科3回生を対象に7月18日、BKCにて『第11回立命技術士懇談会』を企画して実施する。

本技術士懇談会は、会員技術士の実務経験や業務内容等を発信することで、実社会とのパイプ役が果たせ、学生達にとっても技術者としてのキャリアアップの向上と就職活動を始める一助になるものと期待する。これらの企画をコアに、今後も更なる大学支援を都市システム系学科と連携して行っていく。

なお、『立命技術士懇談会』は引き続き(公社)日本技術士会近畿本部および立命館大学建設会の後援をいただき、実施する。

##### (4) 技術講演会および親睦会

総会時に特別講演を実施し、大学と連携しながら講演を企画する。また、交流・懇親会は11月16日に中央電気倶楽部にて実施し、会員相互の幅広い交流へと企画し、展開していく。

##### (5) 会員相互の親睦と技術レベルの向上

一昨年、会員相互のコミュニケーションツールとして発刊した会報を今年も10月に引き続き発行する。そのために会員に対し、本会HPにおいてその投稿を広く募集する。

また、会員に対し「会員名簿」作成のためのアンケートを実施して、具体化していく。

< 予 算(案) >

① 収 入

(1) 会費等	本・特別・準会員	200,000
	賛助会員	100,000
	その他	20,000
(2) 講習会等		20,000
(3) 未来人財育成基金		30,000
(4) その他		2,014
(5) 前期繰越金		97,986
合 計		470,000

② 支 出

(1) 会員技術研修等支援活動費		75,000
(2) 大学教育支援活動費(支援活動派遣費・協力費含む)		75,000 1,500円/人*20 含む
(3) 技術士試験受験支援活動費(支援活動派遣費・協力費含む)		120,000 1,000円/人*50 含む
(4) その他活動費(未来人財育成基金等)		30,000
(5) 通信事務費		30,000
(6) 会費振込手数料		10,000
上計計		340,000
(7) 大学支援・共同企画基金(3活動基金)		100,000
(8) 予備費		30,000
合 計		470,000

積立基金会計(ゆうちょ銀行)

預金名	預け年月日	預け金額	払戻(開始)年月日	年 利 率	%
定額貯金① 受験支援基金	26-03-27	¥150,000	26-09-27	0.04	
定額貯金② 講演交流基金	26-03-27	¥150,000	26-09-27	0.04	
定額貯金③ 大学支援基金	27-03-30	¥150,000	27-09-30	0.04	
定額貯金④ 3活動基金	28-03-29	¥100,000	28-09-29	0.01	
定額貯金⑤ 3活動基金	29-03-30	¥100,000	29-09-30	0.01	
定額貯金⑥ 3活動基金	2-03-30	¥100,000	3-09-30	0.01	
合 計		¥750,000			

\* 定額貯金⑥が第10期の基金予定額である。

\* 定額貯金の利率は3年以上預けた場合の年利率である。

また満期時は10年経過となり、通常口座に振り替えられる予定です。



< 第4号議案 >

立命館大学技術士会会則改定

2009年12月に設立以来、本会則にしたがって一步一步着実に歩んできた技術士会も今期で10年を迎える。今後は本会を一層充実させるために会則を改定し、更なる組織の拡充を図るものとする。

会則の改定は以下の1点であるが、今期から新たに別途、【年会費規程】及び【事務局規程】を設ける。なお、諸規程の変更は、総会の議決を必要としない。

< 改定① >

(役員) 第10条1項の幹事数について、現行の20名以内を30名以内とする。

**【年会費規程】**

事業予算の策定に係る会員数や構成年齢等の動向に鑑み、別途、【年会費規程】を設ける。

**【事務局規程】**

事務局に関し、その位置付けおよび設置場所について明確に記すため、別途、【事務局規程】を設ける。

なお、詳しくは、会則改定案を参照ください。

< 第5号議案 >

第10期役員人事:敬称略(2019年度及び2020年度)

役職名	氏 名 (敬称略)	卒業年	部 門
会長 (1名)	土屋 光弘 新任	S 58	建設
副会長 (6名程度)	楠本 博 留任	S 54	建設
	太田 和夫 留任	H 05	建設
	今道 洋 新任	H 13院	上下水道
	橋口 正悟 留任	H 15院	建設
幹事  (30名以内)	土屋 光弘 留任	S 58	建設
	西村 敏 留任	S 54	上下水道
	楠本 博 留任	S 54	建設
	日室 伸一 留任	S 54	上下水道、建設
	沢田 道彦 留任	S 54	建設
	吉田 順一郎 留任	S 55	建設
	久後 雅治 留任	S 57	建設
	野村 嘉樹 留任	S 60	上下水道
	中井 稔 新任	H 02	建設
	星野 和之 留任	H 03	建設
	青山 裕之 留任	H 05	建設
	太田 和夫 留任	H 05	建設
	深津 真彦 新任	H 07院	建設
	今井 豊 留任	H 08	上下水道
	北岸 真佳 新任	H 12	上下水道
	春田 健作 留任	H 12院	建設
	菊池 博之 新任	H 12院	機 械
	今道 洋 留任	H 13院	上下水道
	長谷川 真也 留任	H 13	建設
	北口 和雅 新任	H 13	上下水道
	玉木 政人 新任	H 13	建設
	橋口 正悟 留任	H 15院	建設
	人羅 真一 新任	H 16	建設
服部 亘啓 留任	H 17院	建設	
幹事長	西村 敏 新任	S 54	上下水道
監事 (2名)	山下 雅巳 新任	S 53	建設
	兼塚 卓也 留任	S 57	建設

幹事および監事以外の役員

役職名	氏 名 (敬称略)	摘 要
顧問	山 田 淳 田 中 伊 三 雄 糸田川 廣 志 新任	
相談役	奥 村 一 大 同 淳 之 岸 田 順 三 渡 邊 郁 夫 大 森 秀 高 新任	